

温泉の利用状況について

泉 質： 含二酸化炭素-ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩温泉
(高張性 中性 高温泉)

温泉成分の特徴： 総成分13,330mg/kg中、炭酸水素イオンが4,194mgあり、入浴後ぽかぽかします。お湯の色が変化するのも特徴です。
(分析場所：源泉)

源泉の温度及び湧出量： 50.0℃ 224ℓ/分

※詳細は別紙温泉分析書のとおり(直近成分分析年月日：H30.5.19)

浴槽の種類とその状況： 大浴場、露天風呂、洞窟風呂(全て温泉水を使用)

循環、かけ流しの状況： かけ流し式
(浴槽に常に新しい温泉を注入してあふれさせています。)

加水の状況： なし

加温の状況： 気温が下がる12月～3月の間、熱交換機で加温しています。

新湯との入れ替わり状況： 6時間で入れ替わります。

入浴剤等の添加： なし

衛生管理状況について

浴槽の清掃状況： 毎日、完全にお湯を抜いて清掃しています。

浴槽水の消毒状況： なし

水質検査の頻度： 日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌の防止状況の確認を行うため、年に1回実施しています。
※水質検査証は別に表示

平成30年5月19日

施設名 湯の宿 湯楽亭(赤湯)

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会